

I 評価ツール例 I 記述式テスト 例

認知症に対する考え方・捉え方・態度を評価するテスト・・・記述式

1 あなたは認知症についてどのように思っていますか。どのような考え方・捉え方をしているか、現段階で思っていることを記載してください。

「

」

2 新しい文化（考え方）・古い文化（考え方）について

（認知症に対する考え方・捉え方の新旧）

知っていますか、

知っている・聞いたことはあるが良く分からない・知らない

知っていると言え方に質問です。

認知症に対する古い考え方はどのような捉え方だったか・・・

認知症に対する考え方や捉え方は、どのように考えられていたのでしょうか。

「

」

新しい考え方はどのような内容でしょうか・・・

「

」

2の別バージョン 認知症の新しい考え方について知っていますか？

知っている・知らない

知っていると言え方：どのような内容か分かる範囲で記載してください。

「

」

3 パーソンセンタードケアについて

1) パーソンセンタードケアについて知っていますか。

知っている・聞いたことがあるが良く分からない・知らない

知っていると答えた方：どのような内容か分かる範囲で記載してください。

「

」

2) パーソンセンタードケアについて

認知症の人の心理的ニーズについて分かる範囲で記載してください

「

」

3) パーソンセンタードケア・・・下記の内容で気づいたことを記載して下さい

利用者さんの良い状態のサインにはどのようなことがありますか・・・

「

」

利用者さんの悪い状態のサインにはどのようなことがありますか・・・

「

」

4 あなたは認知症について、どのような考え方や捉え方をしていますか。

例：いろんなことが分からなくなり、何度も同じことを尋ねられ困る・・・

「

」

5 あなたは認知症の方に接する時にどのようなことに配慮していますか

「

」

Ⅱ 不適切ケア・虐待防止に関する評価ツール

1 高齢者虐待はどのような行為を言いますか。

高齢者虐待は利用者さんにどのような影響を与えますか。

「

」

2 不適切なケアとは

どのようなケア・関りが不適切だと思いますか。

不適切なケアは、利用者さんにどのような影響を与えだと思いますか。

「

」

3 身体拘束とはどのような行為をさしますか。

身体拘束が利用者さんにどのような影響を与えだと思いますか。

「

」

4 虐待の芽チェックリストによる振り返り・自己評価・他者評価

別紙：虐待の芽チェックリストを活用して、協力者は自己評価、リーダーは他者評価を行い、面談でフィードバックする。

結果について分析し、課題を明らかにする。

5 虐待に関する演習・・・グレーゾーンについて

記述式

「これって虐待ですか？・・・どう考えますか、どうしたら良いと思いますか」

1) 利用者が同じ事を何度も訴えたと、無視したり、ちょっと待って！さっき言ったでしょ！など強い口調で答えたりする。

2) 自力で食事摂取が可能なが時間がかかる利用者に対して、時間節約のためにすべて介助してしまう。

3) 一斉介護のスケジュールがあるからという理由で、利用者の臥床・離床・起床を半強制的に行う

Ⅲ コミュニケーションに関する知識・技術の評価

1 不適切な声掛けに対する理解

1) あなたは、どのような声掛けをしていますか

「

」

2) どのような声掛けは不適切だと思いますか。具体的にあげてください。

3) 以下のような声掛けについてどう思いますか

歩行が不安定で椅子から立ち上がろうとする方への声掛け
あぶないですから、立たないでください・・・

「

」

あなたはこのような時にどのような声掛けをしますか

「

」

2 コミュニケーションを図る上で、大切なことを記載してください。

「

」

3 コミュニケーションのチェックリストをつけてもらう。その後、振り返る

IV 行動心理症状に対する理解の評価

1 行動心理症状の理解に関する知識の評価

行動心理症状とはどのようなことを言うのでしょうか。

「

」

行動心理症状にはどのような症状があるのでしょうか。

「

」

行動心理症状を3つ挙げ、その原因と対応方法について述べよ。

「

」

- 2 以下の時に、起きている原因と関わり方について記載してください。
分からなければ、あなたはどのようにしていますか。

1)

- 2) 何度も同じことを尋ねる、聞いてくる

原因

対応方法

- 3) 朝ごはん食べたの、まだ食べていないという・・・

原因

対応方法

- 4) 家に帰りたい、帰らせてください・・・

原因

対応方法

- 5) 興奮して、大きな声で怒る・・・

原因

対応方法

V アセスメント

- 1 介護拒否の強い利用者さんの原因に関するアセスメントと関わり
どのようなことが原因として考えられますか・・・

あなたはどのような対応や工夫をしていますか

- 2 入浴拒否に関するアセスメント
どのようなことが原因として考えられますか・・・

あなたはどのような対応や工夫をしていますか

- 3 食事拒否に関するアセスメント
どのようなことが原因として考えられますか・・・

あなたはどのような対応や工夫をしていますか

- 4 排せつ介助の拒否
どのようなことが原因として考えられますか・・・

あなたはどのような対応や工夫をしていますか

- 5 デイサービスに行くことを拒否することへのアセスメント
どのようなことが原因として考えられますか・・・

どのような対応や工夫をしていますか

評価ツール 例 II 選択式・○×式、穴埋め式の評価ツール 例

記述式で「聞いたことはあるが良く分からない」「知らない」と答えた人に、選択式の評価ツールを使用する

1 新しい考え方・捉え方

作成例：認知症になってからは新しい生き方ができない

認知症になると何も分からなくなる・・・

一部の記述を違えて、正解又は間違いを選ぶ

認知症はその（ ）に過ぎない、を空欄にして選択してもらう

例 1 正しいものは○ 間違っているものには×をつけなさい

- | | |
|---------------------------|---|
| 1) 認知症になると何も分からなくなる。 | × |
| 2) 作られた障害をいっぱい背負って苦しんでいる | ○ |
| 3) 適切な関わりや環境があっても普通に暮らせない | × |
| 4) 認知症はその一部にすぎない | ○ |
| 5) 普段の暮らしの中にこそ、力が出る | ○ |
| 6) 認知症になってから、新しい生き方ができない | × |

どこを×にするかは、協力者を理解する上で必要と思われる所、ここは理解していて欲しいと思うところに×の内容入れると理解度が良く分かる。

例 2 空欄に適切な言葉を入れてください。

又は、下記の語群の中から選びなさい

- | |
|-----------------------------|
| 1) 何も分からなくなった人、何も（ ）人ではない |
| 2) （ ）障害をいっぱい背負って苦しんでいる |
| 3) 適切な関わりや（ ）があれば普通に暮らしていける |
| 4) 認知症はその（ ）にすぎない |
| 5) 普段の暮らしの中にこそ、（ ）出る |
| 6) 認知症になってから、（ ）生き方ができる |

語群なく記載するパターンと

語群から選ぶパターン

語群・・・空欄の言葉

「A 新しい・B これまでの・C 環境・D 支援・E つくられた・F 基本的な・
G できなくなった・H 一部・I 概要・J 力・・・」

2 パーソンセンタードケアの理解について

作成例：文章の一部を変え、○×式

() 抜きにして埋めてもらう

1) 例1 ○×パーソンセンタードケアについて正しいものに○間違っているものに×をつけてください。

- ① 英国の社会心理学者トムキッド・ウッドが提唱した考え方である。○
- ② 病気を中心に考えたケアを提唱している。×
- ③ 認知症の人の人生の歴史を理解することは大切である ○
- ④ 人としての理解より、病気のことを理解する方が大切である。×

例2 () 抜き 適切な言葉で空欄を埋めよ

- 1 () を中心に考えるのではなく、() 人を中心に考えるケア
- 2 認知症の人が周囲から自分のことを受け入れられている、() されていると思えること。
- 3 認知症の人の人生の() を理解する
- 4 病気の本質を理解しながら、その上で() としての理解を深める

2) 認知症の人との心理的ニーズとは

心理的ニーズについて・・空欄適切な言葉を記載してください。

- ① くつろぎ・なぐさめ
- ② むすびつき
- ③ 社会との関わり (共にあること)
- ④ ()
- ⑤ ()

3) 空欄を適切な言葉で埋めてください。

- ① 認知症の人の人格は失われるのではなく() ていくとみる
- ② すべての場面で認知症の方の() を認める
- ③ ケアと環境を() に合わせる
- ④ () された意思決定
- ⑤ () との関係性を重視する。

作成例：認知症の人は重度化するとやがて人格が失われていく・・○×式

() 空欄にして埋めるか、下記群から選択

Ⅱ 虐待防止・不適切ケアの防止の知識についての評価

1 高齢者虐待とは・・・

下記に示すような行為を言う。

- ① 身体的虐待
- ② 介護世話の放棄・放任（ネグレクト）
- ③ 心理的虐待
- ④ 性的虐待
- ⑤ 経済的虐待

設問：上記の5つの虐待について、言葉を変えて○×式、空欄にして穴埋め式

「身体的虐待：高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること
ネグレクト：長時間の放置等、高齢者を養護すべき職務上の義務を著しく怠ること
心理的虐待：著しい暴言、拒絶的な対応、その他心理的外傷を与える言動を行うこと
性的虐待： 高齢者にわいせつな行為をすること、又は高齢者をしてわいせつな行為をさせること
経済的虐待：高齢者の財産を不当に処分すること、不当に財産上の利益を得ること」

2 身体拘束について

身体拘束に該当する行為、文言を変えて○×、空欄にして穴埋め式

「 徘徊しないように車椅子や椅子、ベッドに体幹や四肢をひもで縛る
転落しないようにベッドに体幹や四肢をひもで縛る
自分で降りられないように、ベットを柵で囲む
点滴・経管栄養のチューブを抜かないように四肢をひもで縛る
皮膚をかきむしらないように手指の動きを制限するミトン型の手袋をつける
立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する
立ち上がらないように抑制帯や腰ベルト、車椅子テーブルをつける
脱衣やオムツ外しを制限するためにつなぎ服を着せる
行動を落ち着かせるために向精神薬を過剰に服用させる
自分の意思で開けることができない居室等に隔離する
他人への迷惑行為を防ぐために、ベットなどに体幹や四肢をひもで縛る

3 例外3原則について

緊急やむを得ない場合の要件を3つあげ、内容を説明してください。

- 1) 切迫性
- 2) 非代替性
- 3) 一時性

Ⅲ コミュニケーションについての知識の評価

1 認知症の人とコミュニケーションチェックリスト チェックリストをつけての振り返り

2 不適切なコミュニケーションについての理解

作成例：下記の内容を○×式、又は、関りについてどう思うかの記述式、どう関わればよいかの記述式、等、協力者の課題に合わせて選択する

① 何度も注意したり、叱責する

例：何度言えばわかるの、いいかげんにして。
さっきも言ったでしょう。

② 何もさせない、命令する

例：何もしないでいいから、そこにいて。

③ できないことや間違いを指摘する

例：そんなことはできない、それは間違い・・・

④ 禁止したり、制止したりする

例：動かないで、じっとしていて・・・

例 正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

- ① 椅子から立ち上がろうとする人に、「座っていてください」という
- ② 認知症の人の間違いは指摘し、優しく修正する
- ③ 指示語は理解しにくいいため、固有名詞を使うようにする。
- ④ ボディタッチは認知症の方を驚かせるため

例 正しいものに○、間違っているものに×をつけなさい。

事実を押し付けない → 事実を説明し分からせる ×
馴染みのある言葉を選ぶ ○

介護者が伝えたい事ではなく利用者の気持ちを優先する ○

分からないことは質問しない → 質問して確認する ×

作成例：上記の文章の語尾を変え、○×式、又は記述式

介護者が伝えたい事を優先する・・・×

IV BPSD の理解に関する評価

1 行動心理症状の理解に関する知識の評価

1) 行動心理症状の捉え方の○×式テスト 例

- ① 行動心理症状は問題行動である ×
- ② 本人のニーズと行動心理症状と関係が無い ×
- ③ 行動心理症状は本人からのメッセージ ○
- ④ 行動心理症状は減らすことができない ×

作成例：上記文章の語尾を変えて○×式の問題
正しいものを選ぶ選択式

V 認知症の人の環境作り

「 」空欄を埋めよ。又は「 」を変えて○×

- 1 わかりやすい環境
「分かりやすい環境」と「単純で単調な環境」とは違います。
空間のしつらえがない環境では逆に混乱する
- 2 五感に訴えかける環境
五感が記憶に働きかけ、「生活や行為」を導く
- 3 自立心・自尊心を高める環境
認知症になっても「自立心や自尊心、個性は残る」。自分に合った生活が実現できるような環境作りが必要
- 4 暮らしのための環境
「非日常的な環境」にならないよう配慮し、その人らしく暮らせる環境作り

VI 認知症の人への対応

「 」空欄を埋めよ。又は「 」を変えて○×

- 1 認知症の方が思っている「現実」を否定するのではなく、それを認めて「共感的に受け入れる」ことが大切です。
- 2 認知症の方への対応は、どちらの現実が正しいかではなく、様々な現実がある事を認め、「相手の立場に立って考えること」ことです。
- 3 その人を中心としたケアとは、本人に出来る限りの「自由を保障する」ことです。
- 4 認知症の人に関わるということは、その物語に参加することですが、「その物語を勝手に書き換える事ではありません」 本人が物語を生き続けることができるよう支援する事です。

Ⅲ 各項目における態度に関する評価の根拠

1 新しい考え方・捉え方

新しい認知症ケア観・(参考：認知症介護研修センター・新しいケアから)

- 1) 何も分からなくなった人、何もできなくなったひとではない
- 2) 作られた障害をいっぱい背負って苦しんでいる
- 3) 適切な関わりや環境があれば普通に暮らしていける
- 4) 認知症はその一部にすぎない
- 5) 普段の暮らしの中にこそ、力が出る
- 6) 認知症になってから、新しい生き方ができる

2 古い文化（オールドカルチャー）と新しい文化（ニューカルチャー）

古い考え方と新しい考え方の理解に関するテスト

古い文化：何もかも分からなくなった人・・・認知症の方の言動を問題として捉え、問題への対応を中心としてきたケア

新しい文化：認知症を障がいの一つと捉え、本人の苦しみや不安を理解しそれに応えようとするケアであり、その人らしさを維持することであり全人的なケア。
認知症の人たちの行動は、決して不可解な行動や問題になる行動ではない

3 パーソンセンタードケアの理解について

1 パーソンセンタードケアとは

- ・英国の社会心理学者トムキッド・ウッドが提唱した考え方
- ・病気を中心に考えるのではなく、その人を中心に考えるケア
- ・その人（パーソン）を中心に（センタード）おいたケア
- ・認知症の人が周囲から自分のことを受け入れられている、尊重されていると思えること
- ・認知症の人の人生の歴史を理解する（物語を理解する）
- ・病気の本質を理解しながら・・・その上で「人」としての理解を深める
人を理解するとは・・・性格や気質・能力・生活史の理解
健康状態や感覚機能など身体的状況・これまでの社会との関わり

2 認知症の人との心理的ニーズとは

認知症だけでなくすべての人が持つニーズ

くつろぎ・なぐさめ・・・

むすびつき・・・関係性・・・絆・・・

社会との関わり（共にあること）・・・周囲と繋がっていること・・・

自ら携わること・・・できることをしたい・・・役割を持ちたい

自分らしくあること・・・その人らしさとは・・・支えるとは・・・

3 パーソンセンタードケアの考え方

認知症の人の人格は失われるのではなく隠されていくとみる

すべての場面で認知症の方の人格を認める

ケアと環境を個人に合わせる

共有された意思決定（自己決定の支援）

周囲（社会）との関係性（交流）を重視する。

4 ケアの評価についての理解

1) 困った時の考え方

- ① それは本当に問題なのか
- ② どうしてそれが問題なのか
- ③ 誰にとって問題なのか
- ④ 行動によって何を伝えようとしているのか
- ⑤ QOLを高める方法で解決できないか

2) 良い状態のサインとは

ゆったりしている・喜びの表現・感情が表現できる

自分から社会に関わりを持とうとする・自尊心

3) よくない状態のサインとは

怒り・不安・恐怖・退屈・身体的不快感・引きこもり・緊張・興奮

4) 悪性の社会心理

だます・子ども扱い・おびやかす・レッテルを貼る・もの扱い

無視する・仲間外れ・非難する・からかう・軽蔑する

作成例：悪性の社会心理についてどのようなものがあるか書いてください

認知症の人の良い状態のサインにどのようなものがありますか

認知症の人の良くない状態のサインにどのようなものがありますか

誰にとって問題か、介護職にとって問題となることを問題としていないかを問うテスト。